

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 http://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同 取 次 所	三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

株式会社 バッファロー

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609

東京オフィス 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL.03-3523-3333(代) FAX.03-3523-3300



UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

■ ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



パソコン melco-hd.jp

株式会社バッファロー

メルコグループの中核企業のサイトで製品情報を中心に提供しております。



パソコン buffalo.jp



スマートフォン m.buffalo.jp

デジタルライフ、もっと快適に
BUFFALO™



メルコグループ
Business Report 2015

2014.4.1 — 2015.3.31

創業40周年、次世代への継承を進め、 永続的な成長を目指します。



株式会社メルコホールディングス

代表取締役会長
牧 誠



代表取締役社長
牧 寛之

創業者の理念を、次世代へ継承

メルコグループは、2015年5月1日をもって創業40周年を迎えました。これもひとえにステークホルダーの皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

1975年にオーディオ機器メーカー「メルコ」としてスタートし、1980年代にはPC周辺機器市場に参入、事業領域を拡大しながら、よりよい社会生活を実現するための製品やサービスを提供することに努めてまいりました。

そして今日、PC周辺機器・デジタル家電業界はPCレス、IoT時代（Internet of Things：世の中のさまざまなモノがインターネットにつながる時代）へと変化の時を迎えております。こうした市場環境の中、メルコグループは今後も新しい領域にチャレンジし時代を切り開いていくために、創業者である牧誠の経営理念を『メルコバリュー』としてまとめました。

「メルコバリュー」

■ 千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちと共に、メルコグループの永続的な成長を目指します

■ 顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの知恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします

■ 変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します

■ 一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を

共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します

この『メルコバリュー』をグループ全体で共有し実践することで永続的な成長を目指してまいります。

より筋肉質な経営体質に変革し増益

当期の業績は、消費税増税による消費の低迷やスマートフォン及びタブレット市場の成長鈍化、Windows XP（※1）サポート終了に伴う駆け込み需要の反動減などの影響を受けて減収となる一方で、個人向け市場への高付加価値製品の投入による粗利率の改善、全社における販売管理費の削減などが功を奏し増益につながりました。

その結果、当期の業績は、売上高825億54百万円（前年同期比18.4%減）、営業利益35億12百万円（同24.9%増）、経常利益44億71百万円（同24.6%増）、当期純利益31億66百万円（同49.6%増）の減収増益となりました。

また、ネットワーク製品では、無線LAN中継機で新市場の創出に成功しトップシェアを獲得、法人向けに秘匿性の高いVPNルーターを上市するなど、法人売上の拡大にも努め、さらに産業用機器市場の開拓を行いました。サービス事業として展開している「アパートWi-Fi（※2）」の導入実績は100棟を

突破、本格普及期に入りました。

強固な事業ポートフォリオの構築を推進

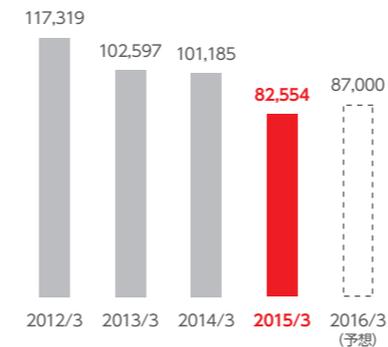
PC関連事業を基盤に発展してきたメルコグループは、外部環境の変化に耐え、PC関連市場の盛衰に影響されない事業ポートフォリオの構築に邁進いたします。中長期的な経営戦略として、既存ビジネスの効率化に取り組みつつ、「PCテクノロジーを応用した新規製品カテゴリの創出」「IoT時代を見据えたネットワーク製品の開発と普及」「アパートWi-Fiを主としたサービス事業の拡大」の3つのテーマに注力してまいります。

こうした取り組みにより次期業績は、売上高870億円（前年同期比5.4%増）、営業利益48億円（同36.7%増）、経常利益56億円（同25.2%増）、当期純利益36億円（同13.7%増）を見込んでおります。

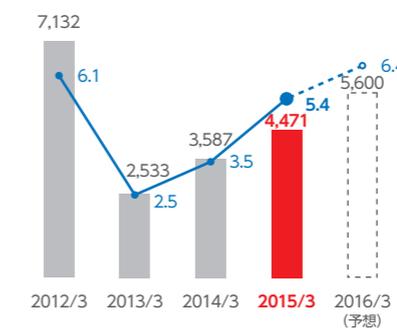
創業40周年を迎えたメルコグループは、『メルコバリュー』を企業経営の根幹に掲げ、グループの永続的な成長を目指して新たなチャレンジを続けてまいります。今後ともメルコグループにご支援賜りますよう、宜しくお願いいたします。

※1：Windows XPは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
※2：Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

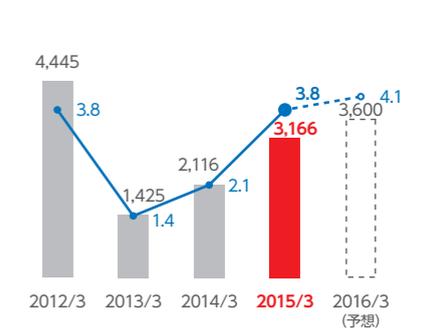
連結売上高 (単位：百万円)



連結経常利益 (単位：百万円)
連結売上高経常利益率 (単位：%)



連結当期純利益 (単位：百万円)
連結売上高当期純利益率 (単位：%)



ヒトと未来を技術でつなぐ

無線LANを中心とした「つなぐ・ためる・楽しむ」で業界No.1を堅持

ますます無線LANの重要性が高まるIoT時代へ…さまざまなモノがパソコンを介さずインターネットにつながるIoT時代を迎えようとしています。そのネットワークの中心となる無線LANをはじめ、画像や映像、ハイレゾ音源といったコンテンツの新しい楽しみ方を提案します。

一般社団法人デジタルライフ推進協会(DLPA)の活動により、録画番組の宅外視聴が可能になりました。

Outdoor

外出先で録画番組を楽しむ

スマホでビデオ

FREE SPOT 公衆無線LAN スポットサービス

Home

家族の写真をためる、テレビで楽しむ

デジタルフォトアルバム おもいでばこ

番組をどんどん録画

家電(テレビ)対応 外付けHDD

家中をまるごとつなぐ

無線LAN (Wi-Fi)

Air Station

ハイレゾ音源を楽しむ

ハイレゾ・オーディオ NAS

より安心・安全に、そしてスピーディーに。培われた技術・ノウハウでBtoB市場を開拓

ビジネスの現場で求められる大容量データの高速処理、強固なセキュリティ、秘匿性の高い通信などのニーズに応える製品をお届けしています。メルコグループの技術・ノウハウを結集し、ビジネス活動をさらに円滑にしていきます。

IoT (Internet of Things)

世の中のさまざまなモノがインターネットにつながる時代

Business

業務データにどこでもアクセス

法人向け無線LAN Air Station Pro

遠隔からネットワークを管理

法人向けスイッチ

災害に備えたバックアップ環境づくり

法人向けNAS TeraStation

Service

Wi-Fiをより快適に活用いただくためにサービス事業を展開

アパートやホテル向けのWi-Fiサービスでは、機器の設置・設定・保守サービスまでトータルでサポートできる体制を確立し、市場を拡大していきます。

より快適に、いっそう使いやすく、
お客様の生活やビジネスをサポートしていきます。

周辺機器

ネットワーク製品

パソコンやスマートフォンなどでのデータ共有や、インターネット接続を可能にする製品。中でも無線LAN中継機が新しい市場をつくっています。ビジネスシーンでも秘匿性の高いVPNルーターなどが存在感を強めています。



無線LAN中継機

高速Wi-Fiルーター

ストレージ製品

データを保存する記憶装置。これまで不可能だったテレビ・レコーダー交換後の録画番組再生に対応できる製品やセキュリティを強化した製品、監視カメラ録画に最適化した法人用NASなど、付加価値の高い製品を提供しています。



法人向けNAS

家庭向けNAS

サプライ・アクセサリ製品

マウス、キーボードなどの入力機器をはじめ、スマートフォンやタブレット用のアクセサリをラインナップ。Bluetooth®(※1)対応製品や、急速充電に対応したUSB充電器など、利便性が高い製品の開発に注力しています。



静音マウス

iPhone 6用ケース

メモリー製品

手軽にデータを持ち運べるUSBメモリーは、ウイルスなどからデータを守る機能を搭載した製品のほか、産業用組込み用途に最適化したSDメモリーカードやSSDなどカスタム製品の開発も強化しています。



セキュリティーUSBメモリー

産業機器用SSD

その他

パソコン自作ユーザーに人気のPCパーツブランド「玄人志向」、写真をテレビで楽しむデジタルフォト・アルバム「おもいでばこ」、ハイレゾ音源を保存する専用のオーディオNASなど、デジタルライフをさまざまな角度から支援しています。



おもいでばこ

ハイレゾ・オーディオNAS

※1：Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

サービス



アパートWi-Fi

個人・法人・アパートオーナーなどを対象に、さまざまなサービスを展開。訪問設定から保守サービスまで、利用者に合わせたサポートの拡充に取り組んでいます。特に、アパートオーナー向けの無線LANレンタルサービス「アパートWi-Fi」は、事前調査から保守までトータルでサポート。さらに、ホテル事業者向けにWi-Fiルーター機器の設置・設定・保守サービスを展開するなど、新規事業にもチャレンジし、市場拡大に努めています。



金融

新規事業として準備を進めていた金融事業は、当期より営業を開始しました。投資運用業や金融商品仲介業など、新たな分野で体制を整え、メルコグループの収益安定化を目指しています。



BCN AWARD 2015 (2014年1月~12月)

14部門受賞

全国大手家電量販店の実売データ集計に基づくAWARDです。

無線LAN部門
13年連続
13回目



NAS部門
2年連続
2回目



外付けHDD部門
7年連続
12回目



ルーター部門
12年連続
13回目



HUB部門

14年連続 15回目

LANカード部門

16年連続 16回目

プリントサーバー部門

15年連続 15回目

記録型DVDドライブ部門

7年連続 7回目

10キーボード部門

初受賞

メモリー部門

6年連続 14回目(※2)

拡張インターフェース部門

12年連続 12回目(※3)

PC電源部門

4年連続 4回目

ドライブケース部門

5年連続 7回目

グラフィックボード部門

12年連続 12回目

※2：メルコグループとして。CFD販売としては4年連続4回目。
※3：メルコグループとして。CFD販売としては6年連続6回目。



GfK Japan Certified 2014 (2014年1月~12月)

3部門受賞

1年間の販売数量シェアの最も高かったメーカーを表彰するものです。

ネットワーク部門
7年連続
7回目



HDD部門
7年連続
7回目



USBメモリー部門
7年連続
7回目

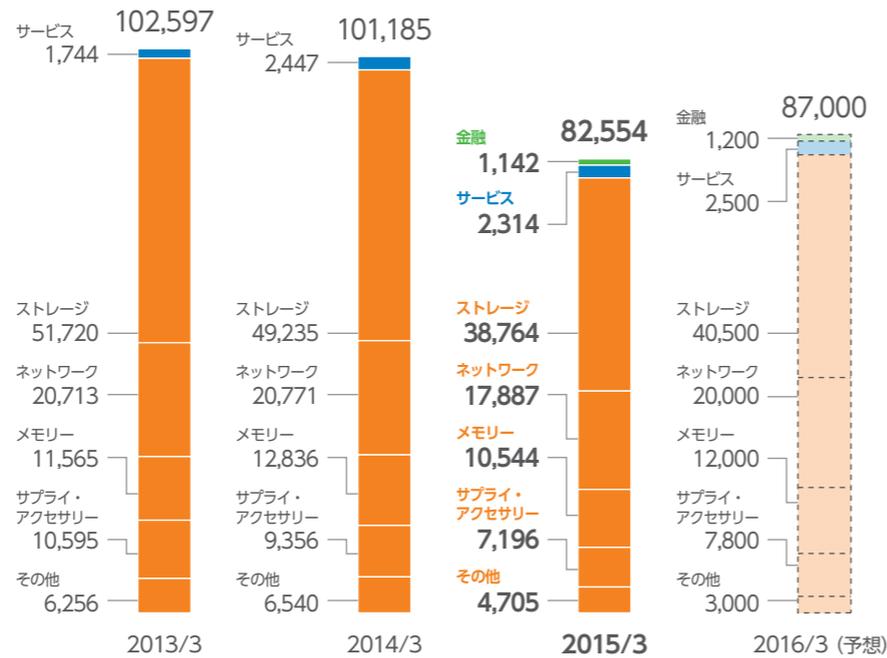


連結売上高推移

(単位：百万円)

- 金融
- サービス
- 周辺機器
- ストレージ製品
- ネットワーク製品
- メモリー製品
- サプライ・アクセサリ製品
- その他

※当第2四半期より、セグメント区分を変更しました。各情報は変更後の区分に基づき作成しております。

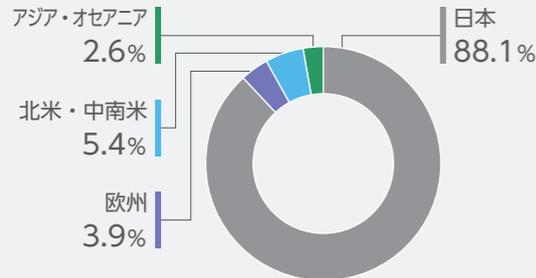


海外売上高

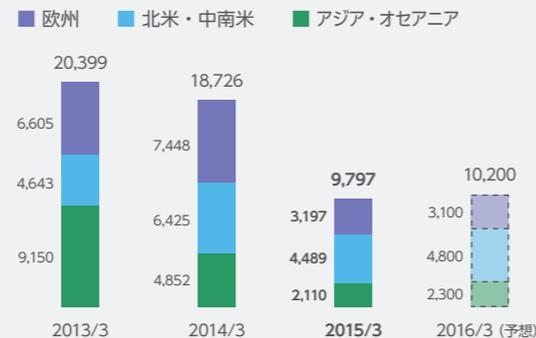
9,797百万円 47.7%減 ↓

海外事業では、低収益製品が主である個人向けから高付加価値製品が中心の法人向けに販売の軸足を移しつつ、販売管理費の徹底的な削減、市場・顧客特性に合わせた製品ラインナップの絞り込みを実施するなど、経営力強化に努めました。しかし、北米においては当期の後半より一定の改善効果が出始めたものの、その他地域においては依然厳しい状況が続きました。その結果、売上高は97億97百万円（前年同期比47.7%減）となりました。

地域別売上高比率



海外売上高推移 (単位：百万円)

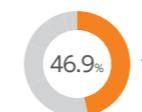


部門別連結売上高



周辺機器 79,098百万円 前年同期比 19.9%減 ↓

周辺機器事業の売上高は、Windows XPパソコンサポート終了に伴う駆け込み需要の反動減、消費税率引き上げ後の消費マインドの低迷などにより、すべての製品群で減少し、売上高は790億98百万円（前年同期比19.9%減）となりました。一方、営業利益は、粗利の改善や営業努力及び販売管理費の削減などが奏功し、29億14百万円（同18.4%増）となりました。主な製品別の状況は、以下の通りです。



【ストレージ製品】ストレージ製品では、国内個人向け市場がゆるやかに縮小する中、個人向けには従来不可能であったテレビ・レコーダー交換後の録画番組再生を可能にするSeeQVault（※）技術に対応した製品、法人向けには第三者がハードディスク内の情報にアクセスすることを防ぐ“かんたんロック”機能を搭載した製品など、高付加価値製品の販売拡大に努めました。しかし、国内外市場における低収益製品の販売抑制の影響などにより、販売台数は前年同期比で30.5%減少し、売上高は257億10百万円（同23.3%減）となりました。NAS製品では、国内個人向け市場が大幅に縮小する中、外出先からスマートフォンやタブレットで自宅にある録画番組を視聴できる新製品（“DLPAリモートアクセスガイドライン2.0”準拠）の販売を開始しました。また、法人向け製品においても、監視カメラ録画に最適化した製品、万一の災害でも速やかにデータを復旧できる製品の上市に加え、国内外で販売パートナーとの関係強化及びサポート体制強化に努めました。結果、国内個人向け市場ではシェアの向上を実現しましたが、欧州・アジアにおける法人向けビジネスが想定通りには立ち上がりず、販売台数は前年同期比で27.0%減少し、売上高は130億54百万円（同16.9%減）となりました。



【ネットワーク製品】ネットワーク製品では、複数端末からの同時接続、スムーズな動画の転送を可能にする無線LAN規格11acに対応した高性能モデルの拡販・普及に努めました。また、無線LAN中継機を新たな成長カテゴリとして捉え、ラインナップの拡充と利便性訴求を実施した結果、新たな市場の創出に成功しトッピングシェアを獲得しました。一方、秘匿性の高いVPNルーターを法人向けに上市するなど、法人売上拡大にも取り組みました。しかし、収益性改善を目的として低収益製品の販売を抑制し、高付加価値製品の販売に注力した結果、販売台数は前年同期比で18.7%減少し、売上高は178億87百万円（同13.9%減）となりました。



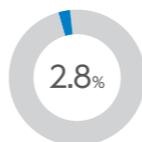
【メモリー製品】メモリー製品では、パソコン用の増設メモリー市場が縮小する中、製品ラインナップの見直し・整理を行うと同時に、産業用組込メモリーなどの法人向けカスタム製品の販売を強化したことで利益面に改善が見られました。しかしながら、国内個人向け市場におけるシェアを落とした結果、販売台数は前年同期比で13.1%減少し、売上高は49億51百万円（同10.4%減）となりました。フラッシュメモリー製品では、国内個人向け市場がゆるやかに縮小する中、Windows・Mac間の異なるプラットフォームにおいてもデータを安全に交換できるウイルスチェック機能付きUSBメモリーなど、高付加価値製品の販売強化に努めました。その結果、収益性の改善は見られたものの、低収益製品の販売抑制の影響により国内個人向け市場にてシェアを落とし、販売台数は前年同期比で45.9%減少し、売上高は55億93百万円（同23.5%減）となりました。



【サプライ・アクセサリ製品】サプライ・アクセサリ製品では、Bluetooth*対応製品、急速充電に対応したUSB充電器・モバイルバッテリー、特徴のある保護ケース・保護フィルムなどのスマートフォン・タブレット向け製品を上市する一方、円安進行により低収益となった製品については、粗利改善活動を実施すると共にラインナップ整理を進めました。結果、販売台数は前年同期比で30.5%減少し、売上高は71億96百万円（同23.1%減）となりました。



【その他】その他製品では、急速に拡大しているハイレゾオーディオ市場向けにネットワークオーディオ製品を上市し、その音質と使い勝手の良さに対し、ハイエンドユーザー、評論家、販売店の多くの方々より高い評価を受けました。また、創業当時のオーディオブランドである“MELCO”を冠して欧州での販売も開始し、国内同様、各方面より高い評価を受けました。また、ユーザーよりいただいた改善要望を反映した第4世代となる“おもいでばこ”を上市し、ファンとの交流会を実施するなど、認知度向上による普及に努めました。結果、これらの製品の販売は順調に推移したものの、当カテゴリに含まれる地デジチューナーなどの終了製品の整理が進み、売上高は47億5百万円（前年同期比28.1%減）となりました。



サービス 2,314百万円 前年同期比 5.4%減 ↓

サービス事業では、代行設定サポート事業において、消費税率引き上げ前に駆け込みで起きた需要の反動により受託件数が減少しました。一方、法人向け訪問設定サービスの拡充として開始した、アパートオーナー向けの無線LANレンタルサービス“アパートWi-Fi”の導入実績が100棟を超え、本格普及期に入りました。また、新たな法人向けサービスとして、ホテル事業者向けのWi-Fiルーター機器の設置・設定・保守サービス、自動販売機向けのWi-Fiサービスを開始しました。しかし、当期への貢献には至らず、売上高は23億14百万円（前年同期比5.4%減）となりました。営業利益は販売管理費の削減などが奏功し、2億88百万円（同0.7%増）となりました。



金融 1,142百万円

金融事業では、2014年4月より“Melco Capital Pte. Ltd.”がシンガポールにて投資運用業の営業を開始し、同年10月には“メルコインベストメンツ株式会社”が金融商品取引業者として金融庁への登録を完了し、11月より営業を開始しました。金融事業の体制が整い、売上高は11億42百万円、営業利益は5億22百万円となりました。

※ SeeQVaultは、NSM Initiatives LLCの商標です。

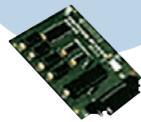
メルコグループが歩んだ40年

1975年。1台のオーディオプレーヤーから始まったメルコグループの歴史。
 アナログ音源をアンプにつなぎ、PCデータをプリンターにつなぎ、家庭やオフィスとインターネットにつなぎ…と、
 さまざまなデバイスやメディアをつなぎ続けてきました。そして本格的なIoT時代を迎えつつある今、
 デジタル技術を身近な暮らしに「つなぐ」という私たちの役割はますます重要度を増しています。
 ステークホルダーの皆様と共に積み重ねて40周年。
 これからもメルコグループは、ヒトと未来を技術でつないでまいります。

1975
メルコ創業

音響機器製品専門メーカー「メルコ」を創業、アンプ専門のメーカーとして設計製造を開始

1982
パソコンの時代へ
プリンターバッファ
大ヒット



プリンター内蔵型のプリンターバッファ「PB-32」を発売

1978

音響機器製品の製造、販売を目的として株式会社メルコを設立
音響機器製品系ドライブプレーヤー「3533」を発売

1981

P-ROMライター「RPP-01」を発売



1988
メモリー事業で
さらに大きく飛躍



日本初のEMSボード「EM-2000」を発売

1994
ストレージ分野に参入
パソコン周辺機器の
総合メーカーへ



ハードディスク「DNA、DNB、DNN、DENシリーズ」を発売し、ストレージ分野に参入

1992

ネットワーク分野へ参入
LAN製品「NLP98」を発売



1999
無線LANを
家庭へ



無線LAN「AIRCONNECT」を発売

2000

無線LAN「AirStation」を発売
グッドデザイン賞を受賞



2008
豊かな
デジタルライフの
実現へ



地上デジタルチューナー「DTV-S30」を発売

2002

家庭用NAS「LinkStation」を発売

2004

法人向けのデータ保護機能付きNAS「TeraStation」を発売



2015

来たるIoT時代へ 新たな飛躍

PCテクノロジーを応用した
新規製品カテゴリの創出

IoT時代を見据えたネットワーク
製品の開発と普及

Wi-Fiサービス事業の拡大

2011

テレビで写真を見る「おもしろいばこ」を発売



2013

さまざまな用途に広がるWi-Fi利用に応える
「11ac(Draft) 準拠版」Wi-Fi製品5種をリリース

2013

賃貸住宅向けWi-Fiブロードバンド工事事業を開始

2014

ハイレゾリューションオーディオ向け製品群「DELA」をリリース



※ 欧州においては「MELCO」ブランドにて発売

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2015年3月31日現在	前期 2014年3月31日現在
① 資産の部		
流動資産	65,579	63,810
固定資産	3,436	3,665
有形固定資産	587	670
無形固定資産	1,323	1,585
投資その他の資産	1,524	1,410
資産合計	69,015	67,475
② 負債の部		
流動負債	21,276	22,179
固定負債	2,373	2,224
負債合計	23,650	24,403
③ 純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	43,590	41,313
自己株式	△61	△61
株主資本合計	45,303	43,026
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	211	99
繰延ヘッジ損益	32	△0
為替換算調整勘定	△184	△151
退職給付に係る調整累計額	2	96
その他の包括利益累計額合計	61	44
純資産合計	45,364	43,071
負債・純資産合計	69,015	67,475

POINT

① 資産の部

総資産は690億15百万円となり、前期に比べ15億40百万円増加しました。流動資産は655億79百万円となり17億69百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の減少11億56百万円、受取手形及び売掛金の増加12億97百万円、有価証券の増加30億円、商品及び製品の減少10億75百万円によるものです。固定資産は34億36百万円となり2億29百万円減少しました。

② 負債の部

負債合計は236億50百万円となり、前期に比べ7億53百万円減少しました。流動負債は212億76百万円となり、9億2百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少3億93百万円、未払法人税などの減少7億55百万円によるものです。固定負債は23億73百万円となり、1億49百万円増加しました。

③ 純資産の部

純資産合計は453億64百万円となり、前期に比べ22億93百万円増加しました。これは主に、当期純利益31億66百万円の獲得と、配当金の支払8億88百万円によるものです。自己資本比率は65.7%となり健全な財務体質を維持しております。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

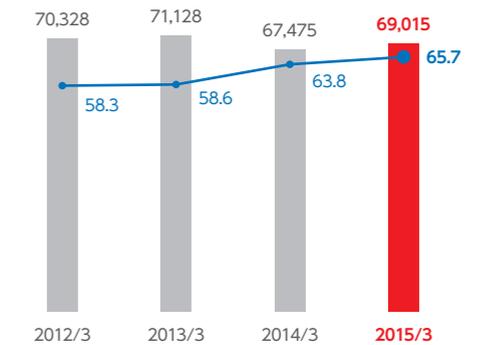
科目	当期 自2014年4月1日 至2015年3月31日	前期 自2013年4月1日 至2014年3月31日
売上高	82,554	101,185
売上原価	64,884	82,176
販売費及び一般管理費	14,158	16,196
営業利益	3,512	2,811
営業外収益	999	900
営業外費用	39	124
経常利益	4,471	3,587
特別利益	2	0
特別損失	33	158
税金等調整前当期純利益	4,440	3,429
法人税、住民税及び事業税	1,421	1,630
法人税等調整額	△148	△316
当期純利益	3,166	2,116

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

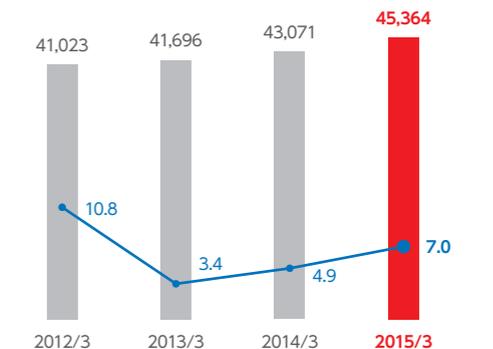
(単位：百万円)

科目	当期 自2014年4月1日 至2015年3月31日	前期 自2013年4月1日 至2014年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,956	6,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,465	△7,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△889	△893
現金及び現金同等物に係る換算差額	241	135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,156	△2,005
現金及び現金同等物の期首残高	9,561	11,567
現金及び現金同等物の期末残高	8,404	9,561

■ 総資産 (単位：百万円)
自己資本比率 (単位：%)



■ 株主資本 (単位：百万円)
株主資本当期純利益率 (単位：%)



詳細情報は

melco-hd.jp/ir/top

会社情報 Company Information

国内

株式会社メルコホールディングス

商号 株式会社メルコホールディングス
(英文社名) MELCO HOLDINGS INC.

設立 1986年(昭和61年)7月1日

資本金 10億円

事業内容 メルコグループの純粋持株会社
傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、経営指導を通じて統括管理を行う

従業員数 17名、メルコグループ連結783名

グループ企業 会社数22社(国内13社、海外9社)

役員(2015年6月12日現在)

代表取締役会長 牧 誠
代表取締役社長 牧 寛之
取締役副社長 松尾 民男
専務取締役 斉木 邦明
取締役 津坂 巖
取締役 箕浦 啓進
常勤監査役 豊岡 誠史
監査役 上總 康行
監査役 額額 満
監査役 青山 高美

株式会社バッファロー

商号 株式会社バッファロー
(英文社名) BUFFALO INC.

創業 1975年(昭和50年)5月1日

設立 1978年(昭和53年)8月5日

資本金 3億2千万円

事業内容 デジタル家電及びコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売

従業員数 469名

役員(2015年4月30日現在)

代表取締役社長 斉木 邦明
取締役 松尾 民男
取締役 渡邊 泰治
取締役 井上 武彦
取締役 関 博式
監査役 統木 政直
監査役 大嶋 健康

事業所	本社	〒460-8315	名古屋市中区大須3-30-20	赤門通ビル	TEL.052-249-6610	FAX.052-249-6609
	東京オフィス	〒104-0033	東京都中央区新川1-21-2	茅場町タワー	TEL.03-3523-3333	FAX.03-3523-3300
	関西営業所	〒532-0003	大阪市淀川区宮原4-1-14	住友生命新大阪北ビル	TEL.050-5533-1250	FAX.06-6398-5755
	北海道営業所	〒060-0031	札幌市中央区北一条東1-4-1	サン経成ビル	TEL.011-200-8150	FAX.011-200-8151
	東北営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡4-5-22	宮城野センタービル	TEL.022-291-0311	FAX.022-298-9470
	中部営業所	〒460-8315	名古屋市中区大須3-30-20	赤門通ビル	TEL.052-249-6600	FAX.052-249-6601
	中四国営業所	〒730-0015	広島市中区橋本町10-10	広島インテス	TEL.050-5830-8888	FAX.050-5830-8889
	九州営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4-9-2	YAOJIセンタービル	TEL.092-477-3711	FAX.092-477-3755

シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツの総合サプライヤー

株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・施工・保守

株式会社バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

海外

〈米国〉BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈欧州〉BUFFALO EU B.V.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈中国〉巴法絡(亞洲)有限公司

製品調達、製品管理及び国際物流

〈台湾〉巴比祿股份有限公司

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈シンガポール〉Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

株式情報 Stock Information

2015年3月31日現在

株式の状況

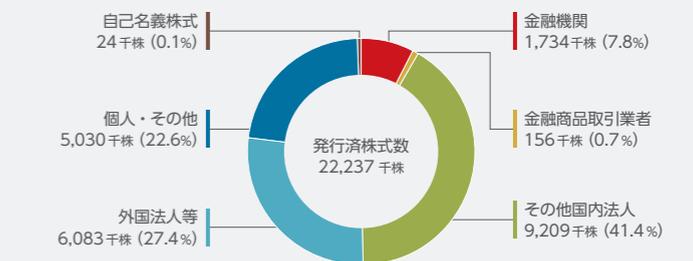
発行済株式数 22,237,873株(自己株式24,627株含む)
株主数 7,404名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マキス	8,485	38.2
いちごトラスト	2,097	9.4
牧 誠	636	2.8
牧 寛之	617	2.7
牧 大介	617	2.7
株式会社名古屋銀行	501	2.2
公益財団法人メルコ学術振興財団	500	2.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	375	1.6
THE BANK OF NEW YORK 133522	256	1.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	249	1.1

(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別分布状況



(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。